

丘と火山
が
おりなす
彩り



十勝岳ジオパークで見られる絶景のご案内
美瑛・上富良野エリア



はじめまして
十勝岳ジオパークは
2022年に日本ジオパークに認定された
新しいジオパークです



ジオパークは
絶景や美食の感動を
「なぜだろう」と少し振り下げ
旅の思い出や郷土愛を深められる場所です



1 どこから来た!? 青い水

3.4km



5.0 km



水を辿ると火山が分かる

世界的にも有名な青い池。その青い水は、どこからやって来て、どうしてこんなところに貯まっているのでしょうか。水を辿ると見えて来る火山の不思議と、その恵みを感じられるコースです。

5.0 km

マイカーレンタカーで巡る お勧めコース

🚗 白金青い池(トイレ有・駐車場普通自動車500円) ▶ 白ひげの滝 ▶ 望岳台(トイレ有・駐車場無料) ▶ 白金温泉(日帰り入浴300円~)

ジオコラム

美瑛軟石



見た目が美しく、やわらかくて加工しやすい美瑛軟石は、1906年から1949年にかけて採掘され、北海道のあちこちで使われています。美瑛町ではJR美瑛駅や道の駅丘のくら、駅前商店街の建物の一部で見ることができます。現在では新たな切りだしは行われていませんが、古い建物に使われていた石材を再利用することで、美瑛軟石を生かしたまちづくりが行われています。

美瑛に広がる丘は、もとを辿ると現在の十勝岳ができる前の約200万~100万年前に北海道中央部で大噴火が起こった時の噴出物で作られました。その噴出物は火砕流堆積物と書います。火砕流堆積物が一度に大量に出たことで、自身を持つ重さと熱で、そこに含まれていたガラス成分が再び溶けて押し固められ、溶結凝灰岩ができました。

それが、美瑛軟石の正体です。美瑛軟石をよくみてみると、すこし濡れて平らになった軽石やキラキラ光る鉱物の石英などをみることができます。



6.7km



波うつ丘はインスタ映え

美瑛から上富良野に続く丘は唯一無二の絶景です。どうしてこんな形になり、そこに広がる農村風景には、どんな物語があるのでしょうか。それを知り、その恵みを守る学びのあるコースです。

マイカーレンタカーで巡る お勧めコース

🚗 北西の丘(トイレ有・駐車場無料) ▶ 新栄の丘(トイレ有・駐車場無料) ▶ ジェットコースター之路 ▶ 日の出公園(トイレ有・駐車場無料)

7.1km



8.9 km



ジオコラム

上富良野はラベンダー発祥の地



北海道を象徴する花とも書えるラベンダーは、富良野から美瑛にかけて広がる田園風景を彩り、観光客の目を楽しませています。ラベンダーはフランス地中海沿岸が原産の、シソ科の常緑性低木で多年生植物ですが、1937年に千葉・岡山・北海道で試験的に栽培され、北海道で生育に適合していることが分かりました。

その後、上富良野町の住民は札幌の香料会社と交渉し、1948年に本格的に栽培をスタートしました。上富良野町東中地区は、ラベンダーを農作物として栽培した日本で最初の土地です。ラベンダーは一度植えると約10年間収穫できます。病害虫に強いだけでなく、気候による影響も少なく、栄養分の少ない傾斜地でも栽培できます。火山灰が厚く積もった上富良野の農地には、最適な作物でした。貴重な収入源にもなることから、1950年代には生産の最盛期を迎え、全国生産量の約80%が上富良野町で生産されました。

その後、香料としてラベンダーが使われることが少なくなり、農作物としての栽培は終わってしまいましたが、1970年代にカレンダーや新聞記事などでラベンダー畑が紹介され、観光資源として注目されるようになりました。上富良野町では現在、駅前や深山峠、日の出公園などでラベンダーが植えられています。



十勝岳ジオパーク 美瑛・上富良野エリア

十勝岳火山砂防情報センター (ヴォルガ)

ジオストーリーが学べる施設
北海道の屋根 十勝岳ものがたり
繰り返される噴火と人々の共存

丘のまち郷土学館「美宙」

ジオストーリーが学べる施設
大地に育まれた火山と共生する美しい丘のまち
火砕流と農業のコラボレーション

上富良野町郷土館

ジオストーリーが学べる施設
十勝岳泥流のつめぎに北の大地を切り拓く
火山災害と復興を伝える

ジオパークの主な見どころ

📍 地帯・地質サイト	● 主な観光地
🌿 生態サイト	🛣️ 国道
🏠 文化サイト	🛤️ 道道
🏠 ビュースポット	— その他の道路
🏠 施設	🏔️ 登山道
	🚉 JR線

畑・私有地には絶対に 入らないでください

この地域で写真・映像を撮影される方々に、
農業者の生産活動を妨げるような行為を慎ん
でいただきますようお願いいたします。

大雪山国立公園の利用上のマナー

🚫 ゴミを捨てないでください	🚫 動物を獲らないでください
🚫 花や植物を採らないでください	🚫 歩行中喫煙
🚫 野生動物に餌を与えないでください	🚫 たき火は指定の場所で 行いましょう
🚫 携帯トイレを使いましょう	🚫 十勝岳ジオパーク推進委員会は 大雪山国立公園携帯トイレ普及 パートナーとして活動しています



3 噴火！そして何が起きた



4.3km



災害を知って身を守る

三浦綾子の小説、泥流地帯に描かれた大正時代の十勝岳噴火の物語。その爪痕は今でも見る事ができます。過去の災害を知る事で、今できる事を学びながら、思ひも感じられるコースです。

マイカー・レンタカーで巡る お勧めコース

上富良野町郷土館(入館無料・駐車場無料) ▶ 流れてきた巨岩(トイレ有) ▶ 日新尋常小学校あと ▶ 吹上温泉(入浴無料・混浴トイレ有・駐車場無料)

ジオパークお勧めのグルメ

焼き肉の町 上富良野



養豚業が盛んな上富良野には焼き肉文化が根付いています。特徴的なのが、豚サガリと呼ばれる横隔膜の部位が名物として好まれています。豚サガリは赤身が好きなお方にはお勧めですが、希少部位のため、この地域以外ではなかなか食べる機会がありません。ビールにも合う豚サガりを、ぜひお召し上がり下さい。

美瑛カレーうどん



日本有数の小麦生産地となった美瑛で、地産産小麦を100%原料にした蕎麦うどんが、開発されました。野菜の生産も盛んなことから、その地元食材を使った名物としてカレーうどんが誕生しました。つけ麺・焼きそば・かけ麺の3種類があり、お店毎に個性がある新しい当地グルメを、ぜひお召し上がり下さい。

拠点施設で絶景の理由をもっと知る

十勝岳火山砂防情報センター(ツェルロ)



北海道 上川郡美瑛町白金
道北バス「白金温泉」停留所下車 徒歩20分
(白ひびの滝から奥の橋を渡り階段で286段)
● 5月-10月 8:30-17:00 無休
11月- 4月 10:00-16:00 火曜休館
年末年始休館(12月28日-1月6日)
◎ 無料

♿ バリアフリー情報

スロープ有・車椅子で見学可能
施設内エレベーター有
建物入口横に無料駐車場有
車椅子対応トイレ有

丘のまち郷土館「美瑛」



北海道 上川郡美瑛町栄町4丁目1
JR富良野線「美瑛」駅下車 徒歩6分
● 10:00-19:00 (入館は18:30まで)
火曜休館 (祝日の場合はその翌日)
年末年始休館 (12月31日-1月5日)
◎ 無料
天文台利用 高校生以上200円(各種割引有)

♿ バリアフリー情報

スロープ有・車椅子で見学可能
施設内エレベーター有
建物入口横に無料駐車場有
車椅子対応トイレ有

上富良野町郷土館



北海道 空知郡上富良野町富町1丁目3-30
JR富良野線「上富良野」駅下車 徒歩9分
● 9:00-16:00
月曜・祝日・冬季(11月-3月)休館
◎ 無料

♿ バリアフリー情報

建物の入口に階段があるため
車椅子での見学ができません

オーダーメイドのジオツアーを五感で感じよう

火山ミニトレッキング



火山災害を巡る



美瑛の丘フットバス



スノーシューで歩く丘



火山のフォレストウォーク



街歩きで火山の恵みを見つける



◎ 各ツアーは、お客様のリクエストでコースを作成して、美瑛・上富良野市街地、または白金温泉・十勝岳温泉から発着します
訪問場所は季節や天候によって変わる事がありますが、ジオパークガイドがその日に最もお勧めする場所をご案内しますので、ご期待下さい
◎ 各ツアーは2-3時間程度で構成します(高齢の方など体力に自信のない方はショートコースをご案内します)
◎ 大人5,000円(2名以上から受付)・3時間を超えるコースは別途ご相談下さい
ツアー内容は、体力や年齢に合わせて、また人数に関わらずオーダーメイドで作成できます
教育旅行や研修旅行などのご相談も承っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい

活動目標 (SDGs とジオパーク)



地域を愛してほしい

風地や景観を守り、持続可能な観光を目指します

火山と共生したい

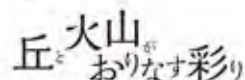
火山を学び、いつか起きる火山災害に備えます

世界の様々な地域と連携・情報交換したい

各地のジオパークを知り、恵まれた環境とふるさとの文化を再発見します

自然遺産・世界遺産 (SDGs) とは 2030 年までに持続可能なよりよい世界を目指す国際目標です。十勝岳ジオパーク推進協議会でも取り組んでいます。

テーマ



約 200~125 万年前に起こった大規模火山噴火による火砕流の堆積が、丘の形成のもとになりました。その後、十勝岳連峰が火山噴火により形成されました。ここでは、四季折々の美しい景観が生まれます。

ストーリー



北海道の屋根 十勝岳ものがたり
繰り返される噴火と人々の共生

十勝岳は、およそ 30 年周期で噴火を繰り返してきました。溶岩流・火砕流・泥流など様々な噴火の痕跡を観察できる貴重なフィールドです。火山と共生してきた人々の営みを紹介します。



大地に育まれた火山と共生する美しい丘のまち
火砕流と農業のコラボレーション

大規模火砕流によって作られた波状丘陵も、もともと原生林でした。おおよそ 130 年ほど前から、この地に入植した開拓民が苦労して農地にしたことによって「丘」らしい景観となったのです。



十勝岳泥流のつめ痕に北の大地を切り拓く
火山災害と復興を伝える

1926 年に発生した十勝岳噴火に伴う扇型火山泥流は 144 名もの犠牲者を出し、多くの農地を埋め尽くしました。火山災害の悲惨さと復興を成し遂げた開拓民の姿を、三浦綾子の小説「泥流地帯」のストーリーとともに伝えていきます。



ツーリズム



- 旅行代理店と連携したジオツアーの商品化
- 観光協会など他団体と連携したジオツアーの開催
- 松浦武四郎の足跡や三浦綾子の小説「泥流地帯」と連携したツアー開催

ジオくらぶ



- 2019 年 7 月ジオサポーターが中心となり活動開始
- 街歩き、登山、ミニツアーの開催
- 地域イベントへ出展
- 特産品開発

情報発信



- ホームページで情報提供・各種資料公開
- SNS・YouTube 投稿
- 各種パンフレットやマップの配布
- QR コードを活用した紙媒体とのメディアミックス
- 総合案内板・解説板の設置

教育



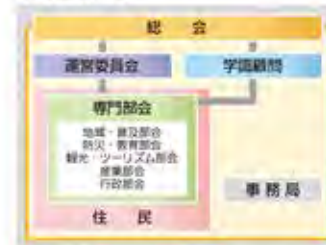
- 火山砂防・防災教育・環境学習・郷土学習 (小学校)
- SDGs の考え方とジオパークの取り組みの学習 (高校)
- ジオパークを通じた地域づくり
- 国立大雪青少年交流の家や教育委員会と連携した社会教育・生涯学習の活動の展開

ガイド養成



- ジオパーク活動の中心を担うジオガイド・ジオサポーターを養成する講座の開催
- ジオガイドの会を定期開催
- ジオガイドによる新たな周遊コースの開発
- モニターツアーの実施

運営・推進



- 地域住民を中心としたボトムアップによる意思決定
- 地元団体の主導による専門部会の取り組み
- 美瑛町・上富良野町のスタッフによる事務局の運営

保全



- 保全指導員によるパトロール
- ボランティア登山・地域の清掃活動へ参加
- 観光ルールマナーを提示し農地立ち入りの抑制
- 大雪山国立公園のルール共有
- 携帯トイレ普及宣言パートナー

普及・連携



- 出前講座による学習機会の提供
- 地域イベントへ出展・PR 活動
- 日本ジオパークネットワーク等、関係機関と連携
- 各種研修会・大会へ参加
- 公式グッズを販売し収益の一部を地域の保全活動等に利用



わたしたちは地域のお宝を

探求
保全
活用 します



映えるだけじゃ...もったいないから

十勝岳ジオパークの全ての見どころ詳細や最新情報はホームページで公開しています
<https://tokachidake-geopark.jp>

北海道上川郡美瑛町本町4丁目6番1号 美瑛町役場 3F 十勝岳ジオパーク推進協議会
Tel : 0166-76-4004 Fax : 0166-76-4005 Mail : info@tokachidake-geopark.jp

